

Japanese Unexamined Utility-Model Publication No.5-33721 discloses a sanitary article, which comprises: a generally flat absorbent sheet 13; and a protruding portion M including an absorbent material and formed on a surface of the absorbent sheet 13 which is to be brought into contact with a private part. The protruding portion M is allowed to enter the gap between the lower end of trunk and the buttocks. This results in preventing outward leakage of body wastes due to the capillary action of the gap. Therefore, the leakage of body wastes through the gap can be completely prevented in bedtime, thereby eliminating uncomfortable feeling and fear of insecurity.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-33721

(43)公開日 平成5年(1993)5月7日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 13/15		7603-4C	A 6 1 F 13/ 18	3 4 0
		7603-4C		3 2 0

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 実願平3-73193

(22)出願日 平成3年(1991)9月11日

(71)出願人 591201000

中川 太恵美

福岡県福岡市南区筑紫丘1丁目21番20号
302

(72)考案者 中川 太恵美

福岡県福岡市南区筑紫丘1丁目21番20号
302

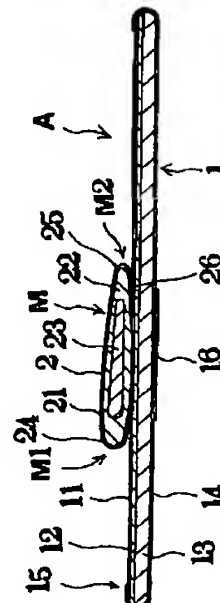
(74)代理人 弁理士 松尾 憲一郎

(54)【考案の名称】 生理用品

(57)【要約】 (修正有)

【構成】略平面状の吸収シート13の局部への接触面に吸収性の素材よりなる突出部Mを形成し、同突出部Mを体幹下端部と左右臀部との間隙中に進入可能とする。これにより排泄物が上記間隙の毛細管現象によって外部に滲出するのを防止する。

【効果】就寝時において、間隙からの排泄物の洩れを完全に防止することができ、不快感や不安感を防止することができる。



1

2

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 局部外面に覆設可能に形成した略平面状の基部の局部への接触面に、吸収性の素材よりなる突出部を形成して、上記突出部が体幹下部と左右臀部とで形成される間隙中に進入可能に構成したことを特徴とする生理用品。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案に係る生理用品の平面図（第1実施例）。

【図2】 図1 I-I線断面図。

*10

*【図3】 図1 II-II線断面図。

【図4】 第1実施例変容例の長手方向断面図。

【図5】 本考案に係る生理用品の長手方向断面図（第2実施例）。

【符号の説明】

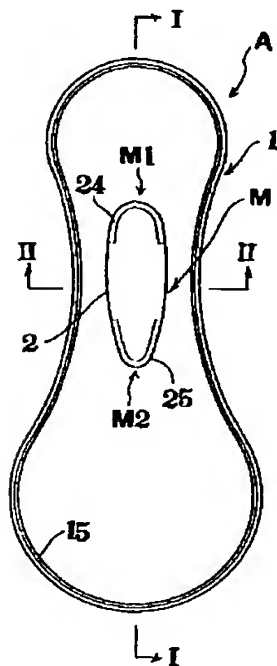
A 生理用品（第1実施例）

B 生理用品（第2実施例）

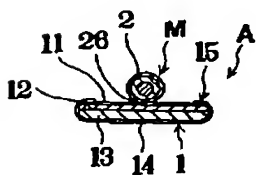
M 突出部

1 基部

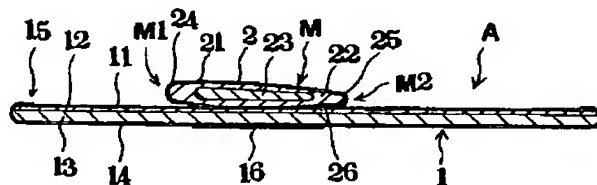
【図1】



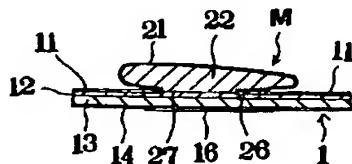
【図3】



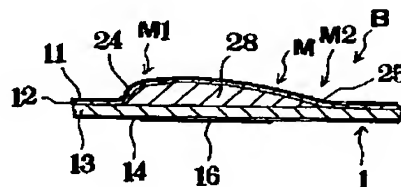
【図2】



【図4】



【図5】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

本考案は、就寝時の洩れを確実に防止することができる生理用品に関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来、女性用の生理用品として、高分子吸水剤等を用いて小型化又は薄型化したり長時間使用を可能にしたもの、また、局部への接触面に撥水性メッシュシートを覆設して、一旦、生理用品の内部に吸収したものが表面に後戻りしないようにしたもの、更には、両面粘着テープを用いて生理用品を下着に固定し、ずれを防止するようにしたものなどがある。

【0003】

また、最近、就寝時の後ろ洩れを防止するために、生理用品の後部を拡大したものが市販されている。

【0004】**【考案が解決しようとする課題】**

ところが、月経血等の排泄物は、一般の血液と異なって凝固しにくく流動性が高いにもかかわらず、上記生理用品が略平面状に形成されているため、装着したとき局部外面との密着性が低く、そのため、生理用品内面と局部外面との間の隙間が多く発生して排泄物の吸収が低下し、特に、体幹下端部と左右臀部とで形成される隙間に、毛細管現象で排泄物が上記隙間に入り込み、これに重力が作用して、仰向けに就床したときは上記排泄物が背後に回り込み、また、俯せに就床したときは、恥毛の毛細管現象により下腹部に回り込み、該部を濡らして不快であるばかりでなく、生理用品の外部に流出して寝具を汚すという問題がある。また、寝具を汚すことへの不安感も心理的負荷を増加する原因となっている。

【0005】**【課題を解決する手段】**

本考案では、局部外面に覆設可能に形成した略平面状の基部の局部への接触面

に、吸収性の素材よりなる突出部を形成して、上記突出部が体幹下端部と左右臀部とで形成される間隙中に進入可能に構成したことを特徴とする生理用品を提供せんとするものである。

【0006】

【実施例】

本考案に係る生理用品の実施例を図面を参照して説明する。

【0007】

図1～図4は、第1実施例としての生理用品Aを示しており、同生理用品Aは基部1と、本考案要旨に係る突出部Mとで構成されている。

【0008】

基部1は、図1で示すように、平面形が中央部がくびれた略小判形状であり、図2～図3で示すように、生理用品Aの局部外面への接触面、すなわち、内面から外面に向かって順に、柔軟なやや厚めの多孔性素材にシリコーン又は弗素樹脂処理等を施して撥水性を付与したメッシュシート11、厚手の不織布等よりなる透水性の中間シート12、高分子吸水剤を分散させた綿状繊維又はスポンジ状素材よりなる吸収シート13、撥水性樹脂加工を施して月経血等の排泄物の通過を完全に阻止する防水シート14を上記の順に重層し、防水シート14の周縁を内側に折返して基部1の内面周縁部に所定巾の折返し部15を形成して、上記各シート11、12、13の周縁を防水シート14で包みこんでいる。そして、基部1の周縁を、上記折返し部15の上から高周波圧着等の手段で接着することによって一体の基部1を構成している。また、防水シート14の外面略中央部に両面粘着テープ16を貼付している。なお、上記と略同一構造の市販品を用いることもできる。

【0009】

突出部Mには、基部1とは別途に突出体2を構成し、これを上記基部1内面に固着して突出部Mを形成したもの（第1実施例）と、前記の基部1内部の各シート11、12、13間に詰め物を施して突出部Mを形成したもの（第2実施例）とがある。

【0010】

第1実施例は、図1～図3で示すように、突出体2は、外形が平面視において

、一方をやや太くした縦長の略紡錘形であり、底部に前記吸収シート13と同様の素材よりなる吸収体23を配し、その外周を中間シート22で被包し、更にその中央部底面を除く外周をメッシュシート21で被包しており、同突出体2の前後端部M1、M2の周縁部表裏両面に、撥水加工を施して前後撥水帯24、25を形成している。なお、上記前後端部M1、M2の周縁部表裏両面に撥水性を有するテープ等を貼着して前後撥水帯24、25を形成してもよい。

【0011】

そして、かかる突出体2を、基部1内面のメッシュシート11の略中央部に、太いほうの端部を前方にして配置し、この突出体2底面の中央部だけを基部1内面のメッシュシート11に貼着26している。したがって、突出体2の前後端部M1、M2は基部1から遊離して、ある程度自由に移動することができることになる。

【0012】

また、図4は第1実施例の変容例を示しており、吸収体23を用いずに中間シート22とメッシュシート21だけで突出体2を形成し、同突出体2の底面中央部のメッシュシート21と、基部1のメッシュシート11とに連通孔27を形成し、同連通孔27の周囲を接着して基部1内面に突出体2を固定することにより、連通孔27を介して突出体2の中間シート22と基部1の中間シート12とを当接させている。

【0013】

本考案の第1実施例は上記のように構成されており、生理用品Aの使用に際し、同用品Aの内面が局部外面に当接するようにして装着すると、突出体2の中央部が局部外面に密接し、突出体2の前端部M1は、局部よりやや上方の皮膚に密接し、突出体2の後端部M2は、体幹下端部と左右臀部で形成された間隙中に進入した状態になる。

【0014】

したがって、局部からの排泄物の大部分は、まず、突出体2中央部のメッシュシート21と中間シート22とを通過して吸収体23に吸収され、引続き、基部1のメッシュシート11と中間シート12を通過して吸収シート13に吸着される。

【0015】

上記メッシュシート11、21は、撥水加工を施した厚手のメッシュシートである

から、排泄物は速やかにこれを通過して、裏面に接した中間シート12、22に毛細管現象で吸収される。

【0016】

このように、一旦、中間シート12、22に吸収された排泄物は、メッシュシート11、21によって皮膚から隔離されているので、皮膚の濡れによる不快感を軽減することができる。

【0017】

中間シート12、22に吸収された排泄物は、その裏面に接した吸収シート13で最終的に吸着されるのであるが、吸収シート13は高分子吸水剤を分散させた綿状物又はスポンジであるから、排泄物を多量に吸着してゲル化する能力があり、更に、基部1の外周及び周縁部を防水シート14で被包しているため、排泄物の外部への溢出、洩出及び滲出を防止している。

【0018】

特に、生理用品Aの内面に突出体2を形成しているため、同突出体2が排泄物の体外への排出始端である局部外面に密着して排泄物を速やかに吸収するので、基部1内面への排泄物の流出が極めて少なくなり、局部周囲の皮膚を濡らすことが少なくなり、また、生理用品Aからの洩れを完全に防止することができる。

【0019】

また、突出体2の前後端部M1、M2は、基部1から遊離してある程度移動自在であるため、局部の皮膚との密着性が向上し、特に、後端部M2は、体幹下端部と左右臀部との間隙の奥部まで進入することができる。

【0020】

また、突出体2の前後端部M1、M2の周縁部表裏両面に前後撥水帯24、25を形成しているため、前端部M1では局部直上方の皮膚と前撥水帯24とが接触することになり、この接触間隙の一方の皮膚は親水性であるが、他方が前撥水帯24であるため、毛細管現象による排泄物の滲出が防止され、したがって、これより上方に植生した恥毛の毛細管現象による排泄物の滲出も防止されることになる。

【0021】

また、突出体2の後端部M2は、体幹下端部と左右臀部との間隙の奥部まで進入

しているので、同間隙を通過して基部1内面に滲出しようとする排泄物を、突出体2で効果的に吸収することができる。そして、後端周縁部に形成した後撥水帯25が、この間隙の皮膚に接しているので、前記と同様に毛細管現象を防止して排泄物が臀部背面に滲出するのを防止することができる。

【0022】

また、図4に示す変容例では、排泄物が突出体2のメッシュシート21→中間シート22→連通孔27→基部1の中間シート12の順で通過して、最終的に吸収シート13に吸着されるものであり、特に、突出体2の中間シート22と基部1の中間シート12とが、連通孔27を介し直接当接しているので排泄物がスムーズに移行し、突出体2の排泄物吸収力を高く維持することができる。

【0023】

上記のように、局部上方の恥毛と、体幹下端部と左右臀部との間隙とに生ずる毛細管現象を防止できることから、就寝するときに、仰向けに就床したとき、閉脚又は開脚いずれの場合でも排泄物が臀部背面に滲出するのが防止され、また、うつぶせに就床しても排泄物が腹部に滲出したりするのが防止され、更に、横向きに就床しても排泄物が臀部側面に滲出するのが防止される。

【0024】

上記のように、いかなる姿勢で就床しても排泄物の滲出を防止できることから、就寝時における不快感や寝具を汚すことの不安感を防止することができる。

【0025】

図5は、第2実施例の生理用品Bを示しており、前記と略同様に構成した基部1の中間シート12と吸収シート13との間に、縦長略紡錘形状のフィラー28を挟装し、メッシュシート11と中間シート12とを膨出させることによって突出部Mを形成したものであり、その前後端周縁部表面には、前記同様の前後撥水帯24、25を形成している。

【0026】

第2実施例は上記のように構成されており、使用法及び作用効果は前記第1実施例とほぼ同様であるが、突出部Mが基部1と一体に形成されているため、体幹下端部と左右臀部との間隙への進入性において第1実施例には及ばないが、突出

部Mから基部1への排泄物の流動が良好であるから、突出部Mの排泄物吸収力が高く保持され、製造も簡易である。

【0027】

【考案の効果】

局部外面に覆設可能に形成した略平面状の吸収シートの局部への接触面に、吸収性の素材よりなる突出部を形成して、上記突出部が体幹下端部と左右臀部とで形成される間隙中に進入可能に構成したことによって、排泄物が上記間隙の毛細管現象によって外部に滲出するのを防止することができる。

【0028】

特に、就寝時の排泄物の洩れを完全に防止することができ、不快感や不安感を防止することができる。